

※応答率…無作為抽出により対象者を選定した場合における参加へ応諾いただいた方の割合のことをいう。  
例えば参加手法が、アンケートであれば総標本数に対する有効回答数の割合を指す。

平成26年度 参加に関連する取組一覧(局別) ※平成27年10月1日一部修正

局(室)区	参加手法	事業名	参加に関連する取組の名称	対象者	実施回数	実施日数	平日夜間	土日祝	参加者数等(応答率※)	傍聴者数
総務局	アンケート	庁舎維持管理事務	川崎市役所本庁舎等の建替えに関する市民5,000人抽出アンケート調査	川崎市在住の満20歳以上の男女個人(5,000標本)	1	-			1,668人(33.4%)	
			川崎市役所本庁舎等の建替えに関する公開アンケート調査	川崎市在住・在勤・在学の個人	1	-			154人	
		地域情報化推進事業	かわさきWi-Fi整備に関するアンケート	限定なし	1	40	○	○	241人	
			平成26年度地域ポータルサイトアクセスキャンペーン	限定なし	各1回	イベント実施日数は計5日間(ほかにグループごとで作業を実施)	○	○	延べ500名以上	
	グループインタビュー	国際交流推進事業	(仮称)川崎市国際施策推進プラン関係団体ヒアリング	市内で国際化にかかわる活動を行っている団体等(市民団体、関係機関、大学、企業)	13	11	○		13団体	
ワークショップ	地域情報化推進事業	「G空間未来デザインプロジェクト」地域課題を解決するための地理空間オープンデータを用いたアイデアソン・ハッカソン・マーケソン	限定なし	1	31		○	216人		
総合企画局	市政モニター	小杉駅周辺地区スマートコミュニティ事業	小杉駅周辺地区スマートコミュニティ事業	武蔵小杉駅周辺地区の世帯	1	-			約120世帯	
	シンポジウム・フォーラム	小杉駅周辺地区スマートコミュニティ事業	小杉駅周辺地区スマートコミュニティ事業中間報告会	上記事業委員会関係者、上記市政モニター、一般市民20人(条件なし)	1	1		○	40人(予定)	20人(予定)
		総合計画推進事業	かわさきの未来を考える市民フォーラム	会場に来場する一般市民	1	1		○	約300人	
	ワークショップ	総合計画推進事業	川崎の未来を考える市民検討会	無作為抽出した各区600人に案内を送付	7	7		○	180人	
	市民討議会	総合計画推進事業	川崎市総合計画市民検討会議	公募市民7人、上記ワークショップ参加者14人、有識者1人	6	6		○	22人	3人
	その他	自治拡充推進事業	高校生等行政参加検討部会	職員のみ	1	1	-	-	-	
		多様な主体による協働・連携推進事業	プロボノセミナー	社会貢献に関心のある市民及び活動のステップアップを図りたい団体	1	1	×	○	52人	
総合計画推進事業		新たな総合計画策定に係るまちづくりカフェ	会場に来場する一般市民	7	7		○	8289人(シール投票数)		
市民・こども局	アンケート	ひとり親家庭の生活支援	川崎市ひとり親家庭生活・就労状況等実態調査	川崎市在住の20歳未満の子と同居しているひとり親の男女個人(2,000標本)	1	-			498人(24.9%)	
		外国人市民施策推進事業	外国人市民意識実態調査	川崎市在住の満18歳以上の外国人市民男女個人(5,000標本/無作為抽出)	1	-			回収数928標本 回収率18.6%	
		男女共同参画センターの管理運営事業	かわさきの男女共同参画に関するアンケート	平成26年9月1日時点で満20歳~79歳の男女個人(3,500標本)	1	-			1,093人(31.2%)	
		シティセールス推進事業	都市イメージ調査	川崎市在住者及び隣接都市、横浜市在住者、一都三県在住者の満20歳以上の男女	1	-	-	-	4,000人	-
		地域振興事業	川崎市町内会・自治会会館整備補助制度に関するアンケート	市内全町内会・自治会長(650人)あて	1	-			集計中	
	公聴会・住民説明会	要保護児童施設整備事業	(仮)心理ケアセンター等工事説明会	近隣町会	2	2	○	○	10人	
		地域療育センター整備事業	北部地域療育センター事業概要説明会	北部地域療育センター利用者	2	2		○	190人	
		スポーツ・文化複合施設整備事業	自主環境アセス住民説明会	市・事業者のHP、市政たよりで告知関連住民へのポスティング	2	2	○	○	第1回 14人 第2回 15人	
			基本設計説明会	市・事業者のHP、市政たよりで告知関連住民へのポスティング	1	1		○	33人	
		文化行政推進事業	第2期川崎市文化芸術振興計画市民説明会	川崎市在住・在勤の方	1	1	○	×	5人	0人

※応答率…無作為抽出により対象者を選定した場合における参加へ応諾いただいた方の割合のことをいう。  
例えば参加手法が、アンケートであれば総標本数に対する有効回答数の割合を指す。

平成26年度 参加に関連する取組一覧(局別) ※平成27年10月1日一部修正

局(室)区	参加手法	事業名	参加に関連する取組の名称	対象者	実施回数	実施日数	平日夜間	土日祝	参加者数等(応答率※)	傍聴者数	
市民・こども局	シンポジウム・フォーラム	人権関連事業	かわさき人権フォーラム	条件無し	1	1	○		30人		
	オープンハウス	シティセールス推進事業	(仮称)川崎市シティプロモーション戦略プラン	中原市民館で開催されたイベントへの来場者	1	1		○	47人	-	
	ワークショップ	シティセールス推進事業	川崎の魅力発信ワークショップ	市内在住、在勤、在学、その他関心のある方(年齢制限なし)	1	1	○		10人	-	
	市民会議	青少年啓発活動事業	川崎市青少年の健全な育成環境推進協議会	構成機関・団体から推薦された委員	2	7			委員49人		
	その他		認可保育所の整備	保育所民営化園保護者説明会	民営化を実施する保育園に通う児童の保護者	18	18		○	総計約600人	0人
			シティセールス推進事業	(仮称)川崎市シティプロモーション戦略プラン	関心のある方(年齢制限なし)	1	1		○	5人	-
		広報事業	広報モニター委員会	(1)年齢満20歳以上であること。 (2)本市の区域内に引き続き1年以上居住していること。 (3)本市の広報活動に理解のある者 (4)本市職員でない者 (5)川崎市暴力団排除条例第2条第3号の暴力団員等でない者	6	6			15人	0人	
経済労働局	市政モニター	消費者啓発育成事業	平成26年度消費生活モニター	市内在住・在勤・在学者で20歳以上(定員:70人)	1	-			65人		
環境局	アンケート	普及広報活動事業	集積所用ネット等配布事業	集積所用ネットの配布を行った個人又は団体(367件)	-	-			293件(79.8%)		
			3R推進講演会アンケート	市内在住又は在勤者	1	1			374人(59.7%)		
	市政モニター	生ごみ等リサイクル推進事業	生ごみリサイクル実践市民モニター	川崎市麻生区在住の10世帯	3	365			10世帯		
	意見・アイデア等の募集	環境影響評価・環境調査事業	環境影響評価関係図書に対する意見書	年齢、性別、市内在住条件なし。外国人含む。	8	-			延べ224人		
	公聴会・住民説明会	環境影響評価・環境調査事業	条例公聴会		公述人:条例準備書関係地域に在勤又は在住の者。年齢、性別条件なし、外国人含む。 傍聴:年齢、性別、市内在住条件なし。外国人含む。	1	1		○	2人	27人
			ポイ捨て禁止条例啓発事業	「新川崎・鹿島田駅」周辺の散乱防止及び路上喫煙防止重点区域の変更に伴う関係者会議		2	2			・1回目 33人 ・2回目 23人	
			橋処理センター整備事業	環境影響評価制度(環境影響評価方法書)説明会		3	2	○	○	39人	
	シンポジウム・フォーラム	普及広報活動事業	3R推進講演会		1	1			626人		
	市民会議	廃棄物減量指導員活動事業	川崎市廃棄物減量指導員連絡協議会	川崎市廃棄物減量指導員役員及び川崎市全町内会連合会の推薦者		3	3			・1回目 13人 ・2回目 11人 ・3回目 10人	
			川崎区廃棄物減量指導員連絡協議会	川崎区在住の川崎市廃棄物減量指導員		3	3			・1回目 153人 ・2回目 147人 ・3回目 10人	
			幸区廃棄物減量指導員連絡協議会	幸区在住の川崎市廃棄物減量指導員		2	2			・1回目 113人 ・2回目 117人	
中原区廃棄物減量指導員連絡協議会			中原区在住の川崎市廃棄物減量指導員		2	2			・1回目 199人 ・2回目 191人		
高津区廃棄物減量指導員連絡協議会			高津区在住の川崎市廃棄物減量指導員		3	3			・1回目 130人 ・2回目 172人 ・3回目 141人		

※応答率…無作為抽出により対象者を選定した場合における参加へ応諾いただいた方の割合のことをいう。  
例えば参加手法が、アンケートであれば総標本数に対する有効回答数の割合を指す。

平成26年度 参加に関連する取組一覧(局別) ※平成27年10月1日一部修正

局(室)区	参加手法	事業名	参加に関連する取組の名称	対象者	実施回数	実施日数	平日夜間	土日祝	参加者数等(応答率 (※))	傍聴者数
環境局	市民会議	廃棄物減量指導員活動事業(宮前区)	宮前区廃棄物減量指導員連絡協議会	宮前区在住の川崎市廃棄物減量指導員	3	3			・1回目 80人 ・2回目 109人 ・3回目 83人	
		廃棄物減量指導員活動事業(多摩区)	多摩区廃棄物減量指導員連絡協議会	多摩区在住の川崎市廃棄物減量指導員	3	3			・1回目 128人 ・2回目 117人 ・3回目 98人	
		廃棄物減量指導員活動事業(麻生区)	麻生区廃棄物減量指導員連絡協議会	麻生区在住の川崎市廃棄物減量指導員	3	3			・1回目 88人 ・2回目 106人 ・3回目 92人	
		普及広報活動事業	川崎市ごみ減量推進市民会議	市民、事業者	6	6			18人	3人
	その他	廃棄物減量指導員活動事業(川崎区)	川崎区廃棄物減量指導員連絡協議会施設見学	川崎区在住の川崎市廃棄物減量指導員	2	2			・1回目 33人 ・2回目 16人	
		廃棄物減量指導員活動事業(幸区)	幸区廃棄物減量指導員連絡協議会施設見学	幸区在住の川崎市廃棄物減量指導員	1	1			・36人	
		廃棄物減量指導員活動事業(中原区)	中原区廃棄物減量指導員連絡協議会施設見学	中原区在住の川崎市廃棄物減量指導員	2	2			・1回目 34人 ・2回目 32人	
		廃棄物減量指導員活動事業(高津区)	高津区廃棄物減量指導員連絡協議会施設見学	高津区在住の川崎市廃棄物減量指導員	1	1			・41人	
		廃棄物減量指導員活動事業(宮前区)	宮前区廃棄物減量指導員連絡協議会施設見学	宮前区在住の川崎市廃棄物減量指導員	1	1			・43人	
		廃棄物減量指導員活動事業(多摩区)	多摩区廃棄物減量指導員連絡協議会施設見学	多摩区在住の川崎市廃棄物減量指導員	2	2			・1回目 34人 ・2回目 30人	
		廃棄物減量指導員活動事業(麻生区)	麻生区廃棄物減量指導員連絡協議会施設見学	麻生区在住の川崎市廃棄物減量指導員	2	2		・1回目 31人 ・2回目 29人		
まちづくり局	アンケート	住宅政策推進事業	現在のお住まいに関するアンケート調査	麻生区内2町丁の社宅を除く全世帯	1	-			624世帯(55.2%)	
		新川崎地区整備事業 鹿島田駅周辺地区整備事業	「社会資本総合整備計画 新川崎駅周辺地区市街地の活性化」事業に関するアンケート調査	交付金計画区域内に在住、在勤の方	1	-			114人(57%)	-
		小杉駅周辺地区再開発等事業	武蔵小杉駅周辺開発計画に関する意向調査	中原区内在住で満20以上の男女(外国人含む)	1	-			479票(24.0%)	-
		小杉駅周辺地区再開発等事業	社会資本総合整備計画「小杉駅周辺地区市街地の活性化」についてのアンケート	武蔵小杉駅(JR・東急)または周辺施設の利用者	1	-			265人	-
		登戸地区土地区画整理事業	「都市再生整備計画事業」アンケート調査(紙面)	登戸駅及向ヶ丘遊園駅周辺に居住する無作為に抽出した400世帯	1	-			113通(28%)	
		登戸地区土地区画整理事業	「都市再生整備計画事業」アンケート調査(街頭)	向ヶ丘遊園駅及び宿河原駅を利用する市民(325人)	1	1			325人(100%)	
	意見・アイデア等の募集	新川崎地区整備事業 鹿島田駅周辺地区整備事業	社会資本整備総合交付金事業 事後評価原案への市民意見募集	市内に在住、在勤、在学の方	1	-			14人	-
		小杉駅周辺地区再開発等事業	社会資本整備総合交付金事業 事後評価原案への市民意見募集	市内に在住、在勤、在学の方	1	-			4人	-
				公述意見申出書を提出し選定された方 傍聴を希望される方	1	1		○	4人	5人
	公聴会・住民説明会	地域地区等計画策定・推進事業	都市計画公聴会	希望される方	2	2		○	53人	
			都市計画素案説明会	希望される方	1	1		○	4人	
			都市計画原案説明会	希望される方	1	1		○	4人	
		登戸地区土地区画整理事業	事業説明会	事業着手を予定するエリアの土地所有者等(43人)	2	2		○	34人	
ワークショップ	都市景観形成推進事業	身近な景観を撮ってみんなのフォトブックをつくろう!	市内在住者・在勤者	1	1		○	21人		
市民会議	登戸地区土地区画整理事業	登戸土地区画整理事業まちづくり推進協議会	登戸土地区画整理事業まちづくり推進協議会委員(42人)	3	3			31人 23人 -	1人 0人 0人	

※応答率…無作為抽出により対象者を選定した場合における参加へ応諾いただいた方の割合のことをいう。  
例えば参加手法が、アンケートであれば総標本数に対する有効回答数の割合を指す。

平成26年度 参加に関連する取組一覧(局別) ※平成27年10月1日一部修正

局(室)区	参加手法	事業名	参加に関連する取組の名称	対象者	実施回数	実施日数	平日夜間	土日祝	参加者数等(応答率(※))	傍聴者数
建設緑政局	アンケート	自転車利用環境 整備事業	市役所通り通行環境整備に関するアンケート調査	市役所通り砂子交差点付近にて通行中の歩行者及び自転車利用者に配布(歩行者2,000標本、自転車利用者2,000標本)	1	-		○	歩行者497通(24.9%) 自転車利用者425通(21.3%)	
	公聴会・住民説明会	等々力緑地再編整備事業	等々力緑地周辺4町内会幹事会	等々力緑地の周辺4町内会(等々力、小杉陣屋町2丁目、小杉御殿町1丁目、宮内)の町内会長及び代表者2、3名	1	1	○		5人	0人
		JR南武線連続立体交差事業	JR南武線連続立体交差事業調査にかかる区町連説明会	区町連、地区町連役員	5	5	○		108人	
	ワークショップ	保全緑地管理事業	保線緑地管理計画策定ワークショップ	対象緑地周辺、町会や保全活動団体	8	8	○	○	30人程度	
	市民会議	河川管理	ニヶ領用水総合基本計画推進会議運営会議	-	1	1			12人	
		河川計画業務	ニヶ領用水総合基本計画推進会議	-	1	1			7人	
		生田緑地調整事業	生田緑地マネジメント会議	生田緑地マネジメント会議会員	22	22	○	○	35人	
その他	河川管理	河川愛護ボランティア制度意見交換会	河川愛護ボランティア制度に参加する市民団体	1	1			9人		
幸区役所	アンケート	地域コミュニティ活性化推進事業(幸区)	夢見ヶ崎公園来園者ヒアリング調査	夢見ヶ崎公園来園者の男女400人	1	-		400人(100%)		
中原区役所	アンケート	地域コミュニティ活性化推進事業(中原区)	中原区情報発信に関するアンケート	中原区役所来庁者及び中原区ホームページ閲覧者	1	-			回答112件(来庁者82件、区ホームページ30件)	
	アンケート	地域コミュニティ活性化推進事業(中原区)	武蔵小杉駅周辺地域におけるコミュニティ形成に関する意識調査	武蔵小杉駅周辺地域の満20歳以上の男女個人(2,500標本)	1	-			850人(34%)	
	意見・アイデア等の募集	区の新たな課題即応事業(中原区)	川崎市制90周年記念事業 中原区「区の木」募集	中原区内在住・在勤・在学	1	-			有効応募数2,136件(応募箱1,809件、郵送・FAX178件、区ホームページ149件)	
			川崎市制90周年記念事業 中原区「区の木」イラスト原画募集	中原区内在住・在勤・在学を問わない	1	-			応募数144件	
	ワークショップ	地域コミュニティ活性化推進事業(中原区)	こすぎワイワイトーク2014	中原区内に在住・在勤・在学、区内で地域活動をしている方、小杉によく訪れる方又は小杉に興味関心のある方	3	3		○	20人	
地域課題対応事業		橋わたしによる地域福祉の活性化ワークショップ事業	中原区在住	2	2			1回目:31人(77.5%) 2回目:31人(91%)	0人	
高津区役所	シンポジウム・フォーラム	地域課題対応その他事業(高津区)	「エコシティたかつ」推進フォーラム	-	1	1		○	60人	120人
	ワークショップ	地域資源活用事業	高津のさんぽみちワークショップ	-	1	1		○	11人	
		地域課題対応その他事業(高津区)	高津区ふるさとアーカイブ事業ワークショップ	条件なし、先着20名	1	1		○	28人	
		地域課題対応その他事業(高津区)	たかつ水と緑の探検隊	条件なし、先着20名	1	1		○	22人	
宮前区役所	アンケート	地域資源活用事業	宮前区サイン整備計画基礎調査	区民祭来場者	1	1		○	205名	
		企画事務	区計画中長期的ワーキングによるアンケート	戸別訪問・ヒアリング	1	1			55戸	
	意見・アイデア等の募集	区役所サービス向上事業(宮前区)	窓口アンケート	区役所来庁者	-	-			51件	
	ワークショップ	区地域福祉計画、医務・薬務、団体及び委員会関連業務	地域のまなざしづくりを目指して	区内民生委員。町内会長に案内送付したが、どなたでも	2	2			77人	
	市民会議	地域資源活用事業	宮前区サイン整備計画市民検討会議	公募委員	3	3			6人	

※応答率…無作為抽出により対象者を選定した場合における参加へ応諾いただいた方の割合のことをいう。  
例えば参加手法が、アンケートであれば総標本数に対する有効回答数の割合を指す。

平成26年度 参加に関連する取組一覧(局別) ※平成27年10月1日一部修正

局(室)区	参加手法	事業名	参加に関連する取組の名称	対象者	実施回数	実施日数	平日夜間	土日祝	参加者数等(応答率※)	傍聴者数
多摩区役所	公聴会・住民説明会	高齢者在宅支援業務(保健・福祉)	多摩区区民説明会(川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン・かわさきいきいき長寿プラン・かわさきノーモラライゼーションプラン概要説明会)	市内在住、在勤の方	1	1		○	37人	
	ワークショップ	区地域福祉計画	地域でつながりひろがる交流会	多摩区内在住・在勤・在学	2	2			・1回目 39人 ・2回目 56人	
	その他	高齢者在宅支援業務(保健・福祉)	認知症サポーター養成講座(市民向)	応募された市民(80名)	1	1			84人	
			地域包括ケア運営協議会		2	2				0人(両会議とも)
麻生区役所	地域別懇談会	区地域福祉計画、医務・薬務、団体及び委員会関連業務	地域福祉懇談会(虹ヶ丘地区)	虹ヶ丘団地住民	1	1			36人	
	市民会議	障害者総合支援法関連業務	麻生区地域自立支援協議会	麻生区在住で障害者手帳をお持ちの方ならびにその家族	12	12			45人	
交通局	アンケート	市バスサービスポリシーの実践	市バスお客様アンケート調査	市バスをご利用のお客様(各営業所・乗車券発売所での配布、バス車内吊り、主要駅頭での直接配布、区役所・市民館等での配布、市民祭りで合計11,500部配布)	1	-			1,402人(12.2%)	
		市バスサービスポリシーの実践	市バス定期券購入者調査	川崎及び溝口乗車券販売所において定期券を購入されたお客様	1	-			225人(45.0%)	-
病院局	アンケート	川崎病院の運営	患者満足度調査	川崎病院の患者である男女	2	-			・入院 464人 ・外来 871人	
		井田病院の運営	患者満足度調査	井田病院の患者である男女	2	-			・入院 209人 ・外来 421人	
	市政モニター	川崎病院の運営	川崎市立川崎病院モニター会議	川崎市在住の満20歳以上の川崎病院の患者若しくはその家族又は川崎病院ボランティアの男女	2	2			7人	傍聴不可
		井田病院の運営	川崎市立井田病院モニター会議	川崎市在住の満20歳以上の井田病院の患者若しくはその家族又は井田病院ボランティアの男女	1	1			5人	傍聴不可
消防局	アンケート	火災予防に関する業務	住宅用火災警報器の設置状況調査	無作為抽出した、1,265世帯	1	-		○	1,237(97.8%)	
		火災等予防業務(臨港消防署)	住宅防火訪問	川崎区民	4	4			・1回目114人(100%) ・2回目127人(100%)	
		秋の火災予防運動(川崎消防署)	住宅防火訪問	高齢者の居住する住宅について、市民・子ども局戸籍住民サービス課から消防局予防課が入手した対象者リストに記載された住宅の居住者	4	4			161件(59.0%)	
		春の火災予防運動(川崎消防署)	住宅用火災警報器設置状況調査	川崎消防署管区から無作為抽出した調査対象地域から、無作為抽出した一戸建て及び共同住宅の居住者	5	5			116世帯(100%)	
		火災等予防業務(幸消防署)	住宅用火災警報器の設置状況調査	各町内会	1	-			172件(100%)	
		火災等予防業務(幸消防署)	住宅防火訪問	無作為抽出した幸区民100世帯	1	1			169件(100%)	
		火災等予防業務(中原消防署)	防火訪問	無作為抽出した区民102人を対象に実施	1	7		○	96人(94%)	
			住宅用火災警報器設置率調査	無作為抽出した区民120人を対象に実施	1	7		○	120人	
		火災予防運動(高津消防署)	住宅防火訪問	区内在住65才以上	1	7			145人	
			住宅用火災警報器設置状況調査	区内在住無作為	1	7			119人	
		火災等予防業務(宮前消防署)	住宅防火訪問	無作為抽出した宮前区民100世帯訪問(満65歳以上の場合もあり)	79人(79%)	79			120人(100%)	
			住宅用火災警報器設置状況調査	無作為抽出した宮前区民120世帯訪問(満65歳以上の場合もあり)	120人(100%)	120			79人(65%)	

※応答率…無作為抽出により対象者を選定した場合における参加へ応諾いただいた方の割合のことをいう。  
例えば参加手法が、アンケートであれば総標本数に対する有効回答数の割合を指す。

平成26年度 参加に関連する取組一覧(局別) ※平成27年10月1日一部修正

局(室)区	参加手法	事業名	参加に関連する取組の名称	対象者	実施回数	実施日数	平日夜間	土日祝	参加者数等(応答率※)	傍聴者数
消防局	アンケート	火災等予防業務(多摩消防署)	多摩消防フェア2014	区民全般	1	1		○	大人220人、子供60人(40%)	
			住宅防火訪問	区内在住65歳以上					150人(57%)	
			住宅用火災警報器設置状況調査	消防局から指定された区内25自治会・町(内)会					集計中	
		防災講演会	区民全般	1	1			425人(85%)		
	火災等予防業務(麻生消防署)	住宅防火訪問	無作為抽出した麻生区民200世帯訪問(満65歳以上の場合もあり)	2			○	・1回目180人(90%) ・2回目180人(90%)		
	グループインタビュー	火災等予防業務(中原消防署)	放火防止対策実態調査	区内の事業所や町内会に対して実施	4	4			・1回目 43人 ・2回目 16人 ・3回目 24人 ・4回目 30人 (応答率は不明)	
		火災等予防業務(麻生消防署)	放火防止教室	麻生区民	2	2			平均8人	
	オープンハウス	火災等予防業務(川崎消防署)	川崎消防署オープンハウス	市内在住の小学生以下と保護者	4	4		○	50人	
		火災等予防業務(中原消防署)	消防フェア	通行人や買い物に来た市民	2	2			1,100人	
		火災等予防業務(宮前消防署)	防災フェア	特になし	1	1			不明	
			東日本大震災風化防止広報	特になし	5	5			不明	
		火災等予防業務(多摩消防署)	防火パレード	区民全般	1	1		○	450人	
	火災等予防業務(麻生消防署)	消防フェア	麻生区民	2	2		○	平均500人		
	ワークショップ	消防広報事業	「みんなが消防士」事業	市内小学校	-	-			・98校 10,371人	
			「地域防災スクール」事業	市内中学校・高校	-	-			・31校 5,945人	
教育委員会事務局	アンケート	教育の広報に関する事務	川崎市教育委員会広報誌「教育だよりかわさき」に関するアンケート調査	市立小中学校に通学する児童生徒の保護者(691名)	1	-			553名(80.0%)	
		日本民家園の管理運営	来園者アンケート	来園者	1				455件(4月～3月)	
		青少年科学館の管理運営	来館者アンケート	来館者	1	-	-	-	828件	-
	意見・アイデア等の募集	-	-	麻生図書館の利用者	-	-		○	年間約40通	
	公聴会・住民説明会	児童生徒増加対策事業	川崎区大師河原2-2(大同特殊鋼社宅跡地)の通学区域一部変更に係る聴聞会	関係校保護者代表及び関係町会役員	1	1		○	10人	0人
		教育施策の企画・立案事務	川崎市教育振興基本計画かわさき教育プラン第1期実施計画素案市民説明会(市役所第4庁舎)	市民	1	1		○	5人	
			川崎市教育振興基本計画かわさき教育プラン第1期実施計画素案市民説明会(高津市民館)	市民	1	1		○	11人	
	川崎市教育振興基本計画かわさき教育プラン第1期実施計画素案市民説明会(高津市民館)	市民	1	1				6人		
	シンポジウム・フォーラム	教育施策の企画・立案事務	かわさき教育フォーラム	どなたでも参加可	1	1		○	411人	
	市民会議	地域における教育活動の推進事業	地域教育会議	区内、或いは校区内の関係者、関心のある方	年間を通して	年間を通して		○	○	各会議による

※応答率…無作為抽出により対象者を選定した場合における参加へ応諾いただいた方の割合のことをいう。  
例えば参加手法が、アンケートであれば総標本数に対する有効回答数の割合を指す。

平成26年度 参加に関連する取組一覧(局別) ※平成27年10月1日一部修正

局(室)区	参加手法	事業名	参加に関連する取組の名称	対象者	実施回数	実施日数	平日夜間	土日祝	参加者数等(応答率(※))	傍聴者数
教育委員会事務局	その他	社会教育振興事業	平和・人権学習、男女平等推進学習、表現・舞台活動支援事業	関心のある市民等	企画内容による				各企画による	
			市民自主学級。市民自主企画事業	提案する館のある区内に活動する拠点がある市民学習グループ等	企画内容による				各企画による	
		教育施策の企画・立案事務	第1回教育改革推進協議会	学識経験者4名、市民代表4名、教職員代表5名	1	1	○		11人	0人
			地域教育会議代表者会議	地域教育会議	1	1	○		不明	
			教育改革推進協議会 第1回社会教育専門部会	学識経験者2名、市民代表2名	1	1	○		4人	
			教育改革推進協議会 第1回学校教育専門部会	学識経験者1名、市民代表1名、教職員代表5名	1	1	○		6人	0人
			市PTA役員会	PTA	1	1			不明	
			幸区 PTA役員会	PTA	1	1	○		不明	
			川崎区 PTA役員会	PTA	1	1			不明	
			高津区 PTA役員会	PTA	1	1		○	不明	
			中原区 PTA役員会	PTA	1	1		○	不明	
			多摩区 PTA役員会	PTA	1	1		○	不明	
			宮前区 PTA役員会	PTA	1	1			不明	
			麻生区 PTA役員会	PTA	1	1			不明	
			21世紀の川崎の教育を創造する研究会 地区研究会の意見交流会	川崎市教職員組合、PTA、地域住民	1	1			不明	
			高津区地域教育会議交流会	高津区地域教育会議	1	1	○		不明	
			多摩区地域教育会議交流会	多摩区地域教育会議	1	1	○		不明	
			中原区地域教育会議交流会	中原区地域教育会議	1	1	○		不明	
			第2回教育改革推進協議会	学識経験者4名、市民代表4名、教職員代表5名	1	1	○		9人	
			第3回教育改革推進協議会	学識経験者4名、市民代表4名、教職員代表5名	1	1	○		12人	
			市PTA役員会、理事会	PTA	1	1			不明	
			子どもたちとの意見交換会 小・中学生	小・中学生	1	1			9人	
		子どもたちとの意見交換会 高津高等学校	高津高校 高校生	1	1			10人		
		子どもたちとの意見交換会 川崎高等学校	川崎高校 高校生	1	1			8人		
		子どもたちとの意見交換会 橘高等学校	橘高校 高校生	1	1			11人		
		第4回教育改革推進協議会	学識経験者4名、市民代表4名、教職員代表5名	1	1	○		13人	0人	